

平成22年度
東京都高等学校保健体育研究会
研究発表会

新学習指導要領について

～中高一貫教育校の立場から～
都立大泉高等学校附属中学校 清水智之

平成22年10月22日(金)
東京都立鷺宮高等学校

大泉高校附属中学校 概要

- 平成22年4月 開校
- 在籍数 第1学年、3クラス、120名
教員：校長、副校長、主幹(2)、主任(5)、教諭(4)、主任養護教諭(1)
- 母体 「大泉高等学校」 旧34群
- 精神 「自主・自律・創造」・「文武両道」
- 校舎 現在全面改築中、完成H25年度
- 3学期制、週32単位時間
- 土曜(土曜授業・土曜演習・土曜講座の実施)

教育目標

- 自ら学び、真理を究める
- 自ら律し、他を尊重する
- 自ら拓き、社会に貢献する

新校舎のイメージ



【新学習指導要領(中・保健体育)】

<改善の基本方針>

- 生涯にわたる健康の保持増進
- 豊かなスポーツライフの実現
- 心身の一体的な健全育成
- 保健と体育の関連した指導
- 学校段階の接続および発達段階に応じて指導内容を整理し体系化を図る

【「体育」改善の基本方針】

- コミュニケーション能力の育成
- 論理的な思考力を育む
- 基礎的な身体能力や知識
- 生涯にわたって運動に親しむことができるように、発達段階に考慮し指導内容を整理し体系化を図る
- 「武道」我が国固有の伝統文化に触れる

【「保健」改善の基本方針】

- 小中高の発達段階を踏まえて保健の内容を体系化する
- 生活習慣やストレスの影響を学ぶ

【具体的改善事項 学習指導要領】

- 中学では、発達段階のまとめりから、「1・2学年」と「3学年」
- 高校では、「入学年次」と「その次の年次以降」
- 中高一貫校では、「1・2年」「3・4年」「5・6年」に分かれると考えられる。

教科【基礎体育科】(6年間)

1) 目標(保健体育)
 2) 健康・安全や運動についての知識や理解を深め、生活における健康のために必要な習慣を養う。
 3) 運動の身体的・社会的な実践を通して、生活にわたってスポーツライフを継続する習慣や能力を育成する。
 4) 健康の保持増進のため、運動の実践力を育成すると共に体力の向上を図り、明るく豊かな生活を送る態度を育てる。
 5) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生活を送りながら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
 6) 各単元の学習内容

学年	学習内容・項目	特色ある活動	単位数
1年	体についての理解と、基礎体力及び運動の基礎を育成する。 <体育> ・体づくり運動(3)*体操、補強運動 ・器械運動(かけ跳び、踏み跳び) ・陸上競技(短距離走、障害走、持久走) ・水泳(20m、100m) ・球技(サッカー、ハンドボール、バレーボール、バドミントン、ソフトボール、テニス) ・武道・ダンス(柔道・剣道・射撃)等 ・保健理論(運動の力学) <保健> 「心身の機能の発達と心の健康」	新体力テスト クラスマッチ 体育祭 遠足大会 (陸上・水泳・駅伝等)	100時間 (30単位) (保健100時間)
2年	環境との関わりや理解や運動技術の基本的育成 <体育> ・体づくり運動(3)*体操、補強運動 ・器械運動(かけ跳び、踏み跳び) ・陸上競技(短距離走、障害走、持久走、走り高跳び、走り幅跳び) ・水泳(20m、50m、100m、200m、400m、800m、1000m、1500m、2000m、2500m、3000m、4000m、5000m、10000m、15000m、20000m) ・球技(サッカー、ハンドボール、バレーボール、バドミントン、ソフトボール、テニス) ・武道・ダンス(柔道・剣道・射撃)等 ・保健理論(運動の力学) <保健> 「健康と環境」「障害の防止」	新体力テスト クラスマッチ 体育祭 遠足大会 (陸上・水泳・駅伝等)	100時間 (30単位) (保健100時間)
3年	健康な生活について理解し、運動技能の向上を図る。 <体育> ・体づくり運動(3)*体操、補強運動 ・器械運動、陸上競技、水泳、ダンス から一つ以上選択 ・球技、武道から一つ以上を選択 ・保健理論 <保健> 「健康な生活と疾病の予防」	新体力テスト クラスマッチ 体育祭 遠足大会 (陸上・水泳・駅伝等)	100時間 (30単位) (保健100時間)

高等部

学年	学習内容・項目	特色ある活動	単位数
4年	健康、安全や運動についての理解を深め、スポーツライフを継続する習慣の向上、健康の保持増進及び体力の向上を図る。 <体育> ・体づくり運動 から一つ以上選択 ・球技、武道から一つ以上を選択 ・保健理論 <保健> 「現代社会と健康、生涯を通じる健康」	クラスマッチ 体育祭 夏期合宿	保健2単位 保健1単位
5年	健康、安全や運動についての理解を深め、スポーツライフを継続する習慣の向上、健康の保持増進及び体力の向上を図る <体育> ・体づくり運動 ・器械運動、陸上競技、水泳、ダンス から一つ以上を選択 ・保健理論 <保健>(0.5等)	クラスマッチ 体育祭 夏期合宿	保健2単位 保健1単位
6年	健康な生活と健康	クラスマッチ 体育祭	保健3単位

- 授業の取り組み(様子)**
- 大変素直に授業に取り組んでいる
 - 発育・発達の差が大きく体格差がある
 体格差が運動能力の差になることも
 - 平均してみると、やや大きめの生徒が多く見られるようである。
 - 小学校での種目経験の差が見られる
 - 保健の学習も学校間の差が見られる

- 成績処理について**
- 成績処理の違い
 観点別評価・・・「A・B・C」
 観点別評価から「評定」
 - 観点
 「技能・表現」、「関心・意欲・態度」
 「思考・判断」、「知識・理解」

【成績処理 問題作成】

- 体育もペーパー試験を実施
- 保健についても合わせて実施
- 作問時点から、観点別で作成
- 観点ごとの集計処理
- 観点ごとの傾斜配分など
- 観点別評価から評定を算出 (^^;
AAAA、AABA、ABBA……

【中高一貫教育校の成績】

- 成績に関する、信頼感が必要
- 中学と高校の評価方法の違い(観点)
今後の方向性は？
- 単位認定について保護者の理解を得ることが必要

【新学習指導要領】

- 学習指導要領の扱いの違い
中学…
高等学校…
- 平成24年度以降の高等部のカリキュラムの問題もあるため、早急な検討が必要

【中高一貫教育校では】

- 「中学」と「高校」では文化が違う
 1. 中学は学年主導的な学校運営
 2. 教科の概念が薄い
 3. 高校は分掌主導的な学校運営
 4. 教科という結束が強い
 5. 個人の対応、組織の対応

etc

本校の様子です



H22 入学式



学習の様子



体育祭の一幕



新島区総合陸上

ご清聴ありがとうございました。

